

米国における食肉処理施設の 現地査察等について

米国における食肉処理施設の現地査察について 1

ＯＩＥ科学委員会が示した各申請国のＢＳＥステータス評価案の概要
. 2 ~ 3

各国ＢＳＥステータスに対する我が国のコメント 4 ~ 5

Japan's comments on country status for Bovine Spongiform Encephalopathy
. 6 ~ 7

平成19年5月11日
厚生労働省
農林水産省

米国における食肉処理施設の現地査察について

米国における対日輸出プログラムの遵守状況を検証するため、担当者を以下の日程等により米国に派遣することとしましたので、お知らせいたします。

1. 日程

平成19年5月13日(日)～28日(月)(16日間)

2. 出張者

厚生労働省及び農林水産省の担当者(3チーム)

3. 調査場所

米国の食肉処理施設28か所

(ネブラスカ州、カンザス州、テキサス州等14州)

注：昨年末に査察済みの7施設及び操業停止している1施設を除く全ての対日輸出認定施設及び検証期間が終了した場合に米側が新規認定を予定している1施設計28施設について査察を行う。

【問い合わせ先】

連絡先：厚生労働省医薬食品局
食品安全部監視安全課
代表：03-5253-1111(内線2455)
直通：03-3595-2337
担当：森田

連絡先：農林水産省消費・安全局
動物衛生課

代表：03-3502-8111(内線4581)
直通：03-3502-5994
担当：片貝

当資料の農林水産省ホームページ掲載先URL
<http://www.maff.go.jp/www/press/press.html>

ＯＩＥ科学委員会が示した各申請国のＢＳＥステータス評価案の概要

カナダ

- (１)ステータス
管理されたリスク
- (２)科学委員会から各国へのコメント
 - ・2007年7月より、すべてのSRMを動物用飼料等に利用することが禁止されるが、飼料規制導入のための管理と査察の枠組みにおいて、サンプリング及び検査について、注意深く検討すべきであることを助言する。また、2006年の飼料規制条件の管理と査察の状況、サーベイランスのデータについて実績について報告を求める。

ニュージーランド

- (１)ステータス
無視できるリスク
- (２)科学委員会から各国へのコメント
 - ・少なくとも8年間、反すう動物に肉骨粉が給与されなかったと証明できるが、意図的な違反は検出できるが交差汚染が検出できないことから、飼料規制の管理強化を示すべき。

台湾

- (１)ステータス
管理されたリスク
- (２)科学委員会から各国へのコメント
 - ・サーベイランスは「管理されたリスクの国」に必要なポイント数に近づいているが、まだ達していない。リスク評価およびリスク低減措置の実施を踏まえ、「管理されたリスクの国」とするが、ＯＩＥがポイント数の増加傾向を確認するため、毎年、サーベイランスの詳細を確実に報告する必要がある。

アメリカ

- (１)ステータス
管理されたリスク
- (２)科学委員会から各国へのコメント
 - ・感染力を持つ可能性のある原料が動物用飼料として利用され続けるかぎり、交差汚染の可能性が存在することから、動物用飼料からSRMを除去することについて注意深く検討すべきであることを助言する。また、2006年の飼料規制条件の管理と査察の状況、サーベイランスのデータについて報告を求める。

ブラジル

- (１)ステータス
管理されたリスク
- (２)科学委員会から各国へのコメント
 - ・サーベイランスは「管理されたリスクの国」に必要なポイント数に近づいているが、まだ達していない。リスク評価およびリスク低減措置の実施を踏まえ、「管理されたリスクの国」とするが、ＯＩＥがポイント数の増加傾向を確認するため、毎年、サーベイランスの詳細を確実に報告する必要がある。

シンガポール

- (1) ステータス
無視できるリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
 - ・ 今後提出される申請書において、シンガポール産肉骨粉の輸入が示される可能性があるが、単にシンガポールで積み替えられただけのものである可能性がある。

スイス

- (1) ステータス
管理されたリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
特になし

ウルグアイ

- (1) ステータス
無視できるリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
 - ・ 飼料規制条件の管理と査察の状況、サーベイランスのデータについて報告を求める。

チリ

- (1) ステータス
管理されたリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
 - ・ 反すう獣への肉骨粉の使用が 2 0 0 0 年に禁止された点を考慮し、「管理されたリスクの国」とする。飼料規制条件の管理と査察の状況、サーベイランスのデータについて報告を求める。

アルゼンチン

- (1) ステータス
無視できるリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
 - ・ 飼料規制条件の管理と査察の状況、サーベイランスのデータについて報告を求める。

オーストラリア

- (1) ステータス
無視できるリスク
- (2) 科学委員会から各国へのコメント
特になし。

スウェーデン

今回は申請書を却下し、修正版を提出するよう助言する。

各国 B S E ステータスに対する我が国のコメント

各国の申請書を評価し、B S E のステータスを推奨した科学委員会及びアドホックグループの努力を多とする。動物及びヒトの健康へのリスクが B S E ステータス決定の基礎であることを考慮し、我々は以下のようなコメントを提出する。

全般的コメント

我々は、国際基準設定手続きにおいて透明性を向上するために、コード委員会報告をウェブサイトに掲載するなど、O I E がその活動について努力していると認識している。加盟国に対する O I E の公式認定の重要性に鑑み、我々は O I E が加盟国や関係者の理解を促し、一層の透明性を確保するよう努力すべきであると考えている。

B S E ステータス評価案については、我々は以下のように科学委員会に対し要請する。

- 1) 各国が O I E コードに規定された基準を満たすとした根拠やデータを十分詳細に、科学委員会報告において提示するよう要請する。
- 2) 我々は、基準が不明瞭な場合にも、どのようにして基準を満たすとしたのかを報告書に明らかにするよう、科学委員会に要請する。特に、科学委員会がいくつかの国について「管理された B S E リスク」と評価すると同時に交差汚染を防止するための飼料規制の強化について助言する場合、第 2.3.13.4 条の「適切なレベルの管理と査察を通じて証明される」という要件を満たすとした根拠について、科学委員会報告書が触れるべきであると考えている。

各国の評価案に対するコメント

1. 米国

- 1) 我々は結論の章において、S R M を動物用飼料として利用することを禁止しない限り、国内で B S E の病原体が循環、増幅するリスクは存在することから、米国は動物用飼料から S R M を除くことについて注意深く検討すべきであると助言した科学委員会のコメントを強く支持する。
- 2) 我々は、ステータスの継続にはサーベイランスの継続が必要であるとの観点から、米国は飼料規制条件の管理と査察の状況に加えて、サーベイランスデータの提供が必要とされていることに同意する。
- 3) 米国はできる限り早く、科学委員会の助言に基づいて飼料規制を強化すべきである。また、米国は、飼料規制条件の管理と査察の状況とサーベイランスデータを継続的に O I E に報告すべきである。
- 4) 科学委員会においては、米国から上記 3) の報告を受けた後できるだけ早い機会に検討を行い、その議論の具体的な内容を適当な報告書の中で明らかにするよう要請する。

2 . カナダ

- 1) 我々は結論の章において、カナダが2007年7月からSRMの動物用飼料への利用禁止を実施する際、管理と査察の枠組みにおいて、サンプリング及び検査について注意深く検討すべきであると助言した科学委員会のコメントを支持する。
- 2) 我々は、ステータスの継続にはサーベイランスの継続が必要であるとの観点から、カナダは飼料規制条件の管理と査察の状況に加えて、サーベイランスデータの提供が必要とされていることに同意する。
- 3) カナダは、飼料規制条件の管理と査察の状況とサーベイランスデータを継続的にOIEに報告すべきである。
- 4) 科学委員会においては、カナダから上記3)の報告を受けた後できるだけ早い機会に検討を行い、その議論の具体的な内容を適当な報告書の中で明らかにするよう要請する。

3 . 台湾、ブラジル、チリ

- 1) 我々は、サーベイランスポイントが増加しつつあるものの正式に要求された目標ポイント数に達していないことから、サーベイランスポイントの蓄積傾向を確認するために、これらの国がサーベイランスの詳細について報告すべきであることに同意する。
- 2) コードに明記されたサーベイランス目標ポイントは、ステータスを認定するため最低要件である。要件についての柔軟な取り扱いは、サーベイランスポイント製の制定後3年といった限られた期間にのみ認められるべきである。
- 3) 科学委員会においては、これらの国から上記1)の報告を受けた後できるだけ早い機会に検討を行い、その議論の具体的な内容を適当な報告書の中で明らかにするよう要請する。

Japan's comments on country status for Bovine Spongiform Encephalopathy

We appreciate the efforts of the Scientific Commission and its *ad-hoc* group in evaluating country dossiers and recommending country status for BSE. Considering that human and animal health risks are the basis for determining BSE status, Japan hereby submits the following comments:

I. General comment

We appreciate the efforts of the OIE in making the Code Commission's reports available on its website to increase transparency of its standard setting procedure. Recognizing the significance of the OIE's official recognition for member countries, we are of the opinion that the OIE should also strive to further enhance transparency of the procedure for official recognition and to promote understanding of member countries and related stakeholders.

With regard to the evaluation for BSE status, we request the Commission:

- 1) that the Commission should provide in its reports in sufficient detail the rationale and data with which the Commission determines whether an individual country meets the requirements stipulated in the OIE Code; and
- 2) that the rationale and critical data on which a decision is based should be clearly described in the report whether or not decision criteria have been established.
Particularly, when the Commission recommends that a country be regarded as having met the requirements for recognition as 'Controlled BSE Risk' with a comment that there is a need to enhance feed ban to prevent cross-contamination, the report should mention why it is determined that the compliance is "demonstrated through an appropriate level of control and audit" as in Article 2.3.14.4.

II. Specific comments on individual countries

1. United States

- 1) We strongly support the comments of the Commission in the section of Conclusions that the United States is recommended to carefully consider excluding specific risk materials in animal feed since the absence of prohibition on the use of specific risk material for animal feed allows the risk of recycling and amplification of the BSE agent in the country.
- 2) Considering that continuous surveillance is required for maintaining the designated status, we agree that it is necessary for the United States to provide the data on surveillance, in addition to updates on the control and audit of feed ban provisions.
- 3) We encourage the United States to enhance feed ban as recommended by the Commission as soon as possible. It is necessary for the United States to continuously report its updates on the control and audit of feed ban provisions and data on the surveillance to OIE.

- 4) We would like to request the Commission to review the above mentioned report in 3) at the earliest opportunity after it is received from the United States and provide details of discussions in the relevant Commission report.

2. Canada

- 1) We support the comments of the Commission in the section of Conclusions that Canada is recommended to carefully consider sampling and testing within the framework of control and audit of the implementation of feed ban rule that specific risk material will be banned from animal feed from July 2007.
- 2) Considering that continuous surveillance is required for maintaining the designated status, we agree that it is necessary for Canada to provide the data on surveillance, in addition to updates on the control and audit of feed ban provisions.
- 3) It is necessary for Canada to continuously report its updates on the control and audit of feed ban provisions and data on the surveillance to OIE.
- 4) We would like to request the Commission to review the above mentioned report in 3) at the earliest opportunity after it is received from Canada and provide details of discussions in the relevant Commission report.

3. Taipei-China, Brazil and Chile

- 1) Because the target number formally required has not been attained, although the number of surveillance points has been increasing, we agree that these countries should report surveillance details to confirm the trend in the accumulation of surveillance points.
- 2) The surveillance points target stipulated in the Code is a minimum requirement for recognition of BSE status. Flexibility on this requirement should be allowed only in the limited periods such as 3 years after the adoption of the new surveillance point system.
- 3) We request the Commission to review the above mentioned report in 1) at the earliest opportunity after it is received from these countries and provide details of discussions in the relevant Commission report.